

震災後に必要な物を想像しよう



どんなことが起こるかを想像し、家族みんなで話し合ってみましょう。

震災発生

第1段階

すぐに確認すること

震災直後は、状況把握や安否確認等が重要になりますが、停電や通信障害などにより、平時より情報を集めることが難しくなります。

不確実な情報に惑わされないよう、日ごろから防災に関する情報をチェックするなど、震災時に正しい情報を手に入れる方法を確認しておきましょう。

情報を集める

港区SNS「災害・緊急対策関連情報」
港区防災アプリ、防災情報メール
防災ラジオ



安否確認

災害用伝言ダイヤル「171」
災害用伝言板
災害用ブロードバンド伝言板「web171」



震災後の生活に必要なこと

震災後は、水道、電気、ガスなどライフラインの停止が予想されます。

また、道路の状況などにより、支援物資が届くまでには数日かかる場合があります。

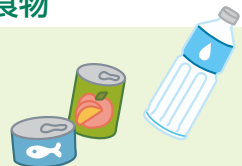
自分と家族を守るためにも、7日分の備蓄品を用意しておきましょう。

食料品については、調理や温めをせずに、そのまま食べられるものが役立ちます。

第2段階

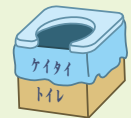
飲食物

食料
飲料水



衛生

携帯トイレ
生理用品
マスク、体温計



より安全に過ごすために

水道、電気、ガスが復旧するには、数日かかります。

ライフライン停止時にも、自宅で安全に過ごすために、食料品以外も備蓄をしておきましょう。

第3段階

ライフライン

カセットコンロ・予備のボンベ
懐中電灯 (LEDランタン・ヘッドライト)
モバイルバッテリー
使い捨てカイロ



衛生

新聞紙
ウェットティッシュ
ラップ
ポリ袋

